



～町内会・自治会、コミュニティ団体、NPO等で活動する人のために～

平成28年度 人材養成講座

団体や地域の活動を活性化するためのアイデアを学べる講座を、次のとおり開催します。

講座名	日時	会場	講師	申込期限
コミュニティ デザイン講座①	11月26日(土) 13:30～16:30	渋民公民館 視聴覚研修室	特定非営利活動法人 いわてNPOフォーラム21 事務局長 中村 恭香 氏	11月15日 (火)
コミュニティ デザイン講座②	12月3日(土) 13:30～16:30	上田公民館 視聴覚室	※講座は、講演と演習の2部構成です。 ※①と②では、講座で紹介する事例内容が異 なります。その他の内容は共通です。	
コミュニティ ビジネス講座	12月17日(土) 14:00～15:30	上田公民館 視聴覚室	特定非営利活動法人 アイディング 代表理事 藤枝 薫 氏	11月30日 (水)

※詳しくは市公式ホームページをご覧ください。

■申込方法■

- ・対象 市内在住又は市内で活動している18歳以上の人
- ・定員 各30人(定員を超えた場合は抽選とします。)
- ・受講料 無料。ただし、会場までの交通費、駐車料金等は受講者の負担とします。
- ・申込方法 必要事項(①住所②氏名③年齢(年代)④電話番号⑤所属団体名・役職)を記入し、「郵送、ファクス又は電子メール」でお申込ください。

■問い合わせ先■

〒020-8530 盛岡市内丸12-2 盛岡市役所 市民協働推進課 協働推進係
電話：626-7535(直通) ファクス：622-6211 メール：kyodo@city.morioka.iwate.jp

第5回 本宮ゆいっこまつり

8月21日(日)、本宮地域協働協議会(宮野勇夫会長)は「第5回本宮ゆいっこまつり」を、(株)岩手めんこいテレビ社(本宮5丁目)屋内特設ステージなどの会場で実施。地域の方による様々なステージ発表や、フリーマーケットなどが行われました。

本宮地区の地域協働事業の目玉として行われてきた「ゆいっこまつり」もいよいよ定着し、地域に貢献したいという(株)岩手めんこいテレビ社からの提案もあり、「めんこいまつり」とのタイアップによる同日開催となった今年は、例年以上に多くの観客を集めていたようでした。



【ステージ発表の様子】

平成28年度 元気なコミュニティ特選団体

9月22日(木)に開催された地域づくりフォーラムにおいて、平成28年度「元気なコミュニティ特選団体」への認定証の交付が行われました。

平成28年度、新たに認定を受けた盛岡市の団体は、次の4団体です。

- ・黒石野平地区町内会
- ・上鹿妻自治会
- ・太田地区自治会協議会
- ・鉦屋町町内会



※元気なコミュニティ特選団体とは？

岩手県が選定した、人口減少・少子高齢化に向き合い、地域力の強化に取り組む県内のモデルとなる団体です。

回																			
覧																			

つながる

Vol.51

わ



発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL：019-626-7535(直通)
E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp
(平成28年11月発行)

大会を支える 国体ボランティア

【いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)のプランター】

自治会・町内会・学校・保育園などの応援メッセージ入りで、459個が競技場内に飾られました。花の種類はペゴニア・マリーゴールドです。

同様のプランターは市内各会場にも配置されました。



10月1日(土)に開幕した希望郷いわて国体。

県内外から集まる選手や応援団をおもてなしするために活躍した、ボランティアの方々の活動の一部をご紹介します。

10月6日(木) いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)で行われた成年男子サッカー競技決勝戦に、ボランティアや競技運営の補助として従事された方々の活動などを紹介します。



【右:救護班】

盛岡南高校サッカー部の方々。試合中に負傷した選手等を担架で救護所へ搬送する担当。

【左:休憩所係】

無料ドリンクコーナーやおふるまいコーナーなどを担当。



【無料ドリンクコーナー】

来場者にお茶やりんごジュース、スポーツドリンクなどを提供。また、昼時間には「おふるまいコーナー」も開設。10月6日(木)には福田パンがふるまわれ、大盛況につき、30分程度で配布完了となりました。



【ボールボーイ】

盛岡商業高校サッカー部の方々。フィールド外に出たボールの回収や、選手へのボールの供給を担当。商業高校の方は、ボールボーイに加えて、受付の補助も行いました。



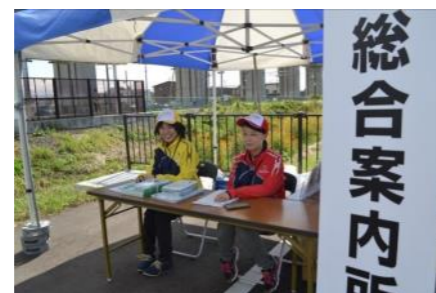
【弁当・環境美化係】

従事者や選手等の弁当の配布・食後の弁当箱の回収、会場内の廃棄物の回収やプランターの花への水やりなどを行いました。



【会場内の受付案内所】

来場者の受付や障がいのある方への対応(車椅子利用者の補助や視覚・聴覚に障がいがある方への補助など)、アンケートの配布・回収などを行いました。



【岩手飯岡駅前の総合案内所】

岩手飯岡駅で電車を下車した方にパンフレット等を配布し、会場までの道を案内しました。



【路上の花壇の整備】

岩手飯岡駅前から会場までの道中、地域の方々により整備された花壇が大会に彩りを添えました。花壇には地域の町内会・自治会・子供会などからの応援メッセージも添えられました。



アートで岩手を盛り上げる!!
いわてアートプロジェクト2016

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に併せて、いわてアートプロジェクト2016実行委員会(福井誠司実行委員長)による様々な展覧会やワークショップ等のイベントが開催されました。今回のイベントのねらいや来場される方々へのメッセージなどについて、主催している実行委員会の方にお聞きしました。



【公会堂メディアアート展 長友心平さん】

Q1 「いわてアートプロジェクト2016」のねらいを教えてください。

これまで多くのアーティストが岩手で支援活動を行ってきましたが、それらが知られることはあまりありませんでした。そのため震災5年目という節目の年に、そうしたアーティスト達を紹介し、彼らがアートとして留めた震災の記憶を発表する、そして、それを国体で来訪する多くの方々にも見て頂こうと企画しました。

Q2 開催にあたり、苦勞した点や工夫した点を教えてください。

一般的に展覧会と言うと美術館やギャラリーへ足を運ばなければならないと思ってしまうのですが、このプロジェクトでは身近にアートを感じていただくために、ショッピングセンターや市民の皆さんに広く利用されている場所を会場としました。また県外から来場される方々には、盛岡の歴史も感じていただけるよう、歴史的建造物を会場にしたのも工夫した点です。

その一方、沢山の会場で同時に複数の展覧会を開催しましたので、展示作業も大変でしたし、会期や会場、作家をわかりやすくお伝えする面では苦勞をしました。



【町家物語館】
アーティスト達との
ワークショップ



【川徳会場】
アナ・ダブツツォさんの
トークショー

Q3 すでいくつかの展示やイベントが終了していますが、見に来た方の反応などを教えてください。

今回、前半9月は市内9会場、後半10月は市内4会場での展示となったほか、ワークショップ、トークショーなども開催しましたので、その中の一部をご紹介します。

- ★「一つの会場で様々な作品が楽しめた」「迫力のある作品の中に沢山の思いが込められているのを感じて感動した」「見ると笑顔になる作品の数々」(公会堂/メディアアート展)
- ★「人生初めての丸ペン、トーン張りに大興奮!とても勉強になる楽しいワークショップでした」(アーティスト達とのワークショップ)
- ★「建物、写真、どちらも素晴らしく、素敵でした。おだやかな日常が確かにあったのに、と思いながら写真一枚一枚を味わいました」(岩手銀行赤レンガ館/マグダレナ・ソレ展)
- ★「建物と作品の重厚な調和が心に沁みました(徳清倉庫/サムライハウス展)」

Q4 最後に、現在開催中のイベントに来場される方々にメッセージをお願いします。

12月25日(日)まで 啄木・賢治青春館にて開催されている「ホセ・マリア・シシリア展」。こちらはヨーロッパの現代アートシーンを代表するシシリア氏の作品をご覧いただける、またとない機会となっておりますが、それだけでなく、ここに展示された1,500人を超える方々が参加したワークショップ作品群こそが、実はこのプロジェクトのきっかけであり、核となったものです。

ぜひこの機会に、ワークショップに参加した方々とアーティストが紡いだ「岩手の記憶」に触れていただければと思っております。

